◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

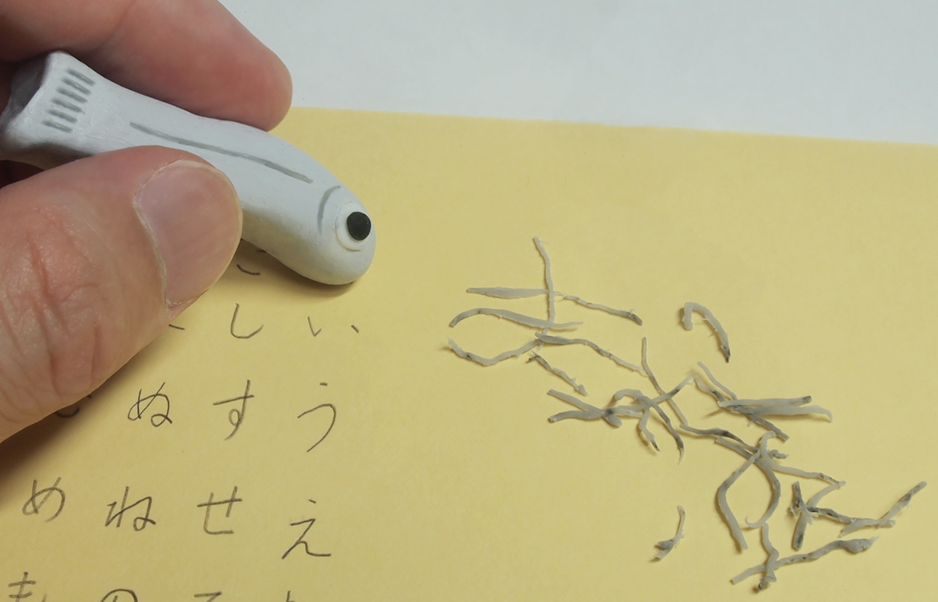
**食科協かわら版　No.407　（2023年度No.35）**　 　2023/8/25

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆ ****

**削りカスが　まるでしらす干しのようになる消しゴムなんだって**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **1-2** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-6** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **6-13** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **13-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-17** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **17-32** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

8月18日　　かわら版406号を発行・かわら版ニュース＆トピックス360号を発行

8月22日　　かわら版ニュース＆トピックス361号を発行

8月25日　　かわら版407号を発行・かわら版ニュース＆トピックス362号を発行

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**★***Link***新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、検疫事例）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.html>

**■***NEW***第107回コーデックス連絡協議会(開催案内)　2023/8/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34389.html>

　　厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、令和5年9月8日 （金） に、コーデックス委員会における活動状況の報告と検討議題に関する意見交換を行うため、「第107回 コーデックス連絡協議会」を開催します。なお、今回は、ウェブ上での傍聴を受け付けます。

記

1 開催概要

(1) 厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、コーデックス委員会（※）の活動及び同委員会での我が国の活動状況を、消費者をはじめとする関係者に対して情報提供するとともに、検討議題に関する意見交換を行うため、コーデックス連絡協議会を開催しています。コーデックス連絡協議会の委員、活動内容等は、以下のURL ページに掲載しています。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html>

(2) 今回は、令和5年10月に開催される第33回一般原則部会 （CCGP) の主な検討議題の説明を行い、令和5年５月に開催された第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS) 及び第47回食品表示部会 (CCFL) 並びに令和5年6月に開催された第42回分析・サンプリング法部会（CCMAS）の報告を行い、意見交換を行うこととしています。

※ コーデックス委員会（Codex Alimentarius Commission）は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

2 開催日時

日時：令和5 年9 月8 日（金） 13 時～15時30分

開催形式：ハイブリッド

・委員はAP虎ノ門 Aルーム（東京都港区西新橋 1-6-15 ） またはウェブにて参加

　　　　 ・傍聴はウェブのみ

3 議題

（１）コーデックス委員会の活動状況

ア 今後の活動について

・第33回一般原則部会（CCGP)

イ 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS)

・第47回食品表示部会 (CCFL)

・第42回分析・サンプリング法部会（CCMAS)

（２）その他

これまでの当会議の議事概要等は以下の URL ページで御覧になれます。 また、今回の会議資料は、令和5年 9 月 6 日（水曜日） までに厚生労働省のURLページに掲載するとともに、会議終了後に3省庁のURL ページで公開することとしております。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html>

4 傍聴可能人数　無制限

5 傍聴申込要領

（１）申込方法

電子メールにて、以下のお申込先に、｢第107回コーデックス連絡協議会｣ の傍聴を希望する旨、御氏名（フリガナ）、御連絡先 （電話番号、電子メールアドレス） 、勤務先・所属団体等を明記の上、お申込み下さい。（電話でのお申込みは御遠慮願います。 また、厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 及び農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課ではお申込みをお受けできません。）

＜電子メールによるお申込先＞

消費者庁 食品表示企画課 宛て

電子メールアドレス：[i.codexccp@caa.go.jp](mailto:i.codexccp@caa.go.jp)

（２）申込締切等

令和5年９月１日（金）17 時必着です。

傍聴はYouTubeによるライブ配信等です。

傍聴用URLについては、９ 月4 日（月）以降に御連絡します。

（３）傍聴される皆様への留意事項

次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、今回および今後の傍聴をお断りすることがあります。

・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと

・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

（４） その他

・傍聴等に係るインターネット通信料は、参加者の負担となります。

・パソコン、タブレット、スマートフォン等での参加が可能ですが、安定したネットワーク環境の利用を推奨します。

・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

　お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生･食品安全企画課　担当者：国際食品室 佐々木、海老名

代表：03-5253-1111（内線2405）FAX：03-3503-7965

消費者庁 食品表示企画課　担当者：宗、名達、谷口

代表：03-3507-8800 (内線2329)　FAX:03-3507-9292

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課　担当者：国際基準室 織戸、堀米、太田

代表：03-3502-8111 (内線4471)　ダイヤルイン：03-3502ｰ8732

FAX:03-3507-4232

**■菌末を添加した調製粉乳に係る厚生労働大臣の承認の審査事項（案）に関する御意見の募集について　2023/8/16**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230131&Mode=0>

　受付開始日時 2023年8月16日0時0分

受付締切日時 2023年9月15日0時0分

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2023/8/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34653.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた以下について、出荷制限の解除を指示しました。

（１）群馬県で捕獲されたシカの肉（県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものに限る。）

（２）宮城県蔵王町で産出されたシイタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）

　　１　群馬県に対して指示されていた出荷制限のうち、県内において捕獲されたシカの肉（県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から群馬県への指示は、別添１のとおりです。

（２）群馬県の申請は、別添２のとおりです。

２　宮城県に対して指示されていた出荷制限のうち、蔵王町において産出されたシイタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から宮城県への指示は、別添３のとおりです。

（２）宮城県の申請は、別添４のとおりです。

３　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和５年３月30日）

[（別添１）（PDF:111KB）［111KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001132883.pdf)  
[（別添２）（PDF:1,194KB）［1.2MB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001132885.pdf)  
[（別添３）（PDF:160KB）［160KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001132886.pdf)  
[（別添４）（PDF:689KB）［689KB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001132887.pdf)  
[（参考資料）（PDF:1,223KB）［1.2MB］](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001132888.pdf)

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３５４報）　2023/8/18**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34634.html>

　１　自治体の検査結果

青森県、岩手県、宮城県、仙台市、茨城県、栃木県、埼玉県、さいたま市、東京都、文京区横浜市、岐阜市、大阪府、大阪市、奈良県、徳島県

　　　※ 基準値超過　１件

　No. 66 宮城県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 160 Bq / kg )　丸森町

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.17 2023（2023.8.16）2023/8/16**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202317m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. アイスクリームに関連して複数州にわたり発生しているリステリア*（Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023 年 8 月 10 日付初発情報）

2. テキサス州の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染アウトブレイク（2023 年 4 月 11 日付情報）

3. ペットのアゴヒゲトカゲ（bearded dragon）に関連して複数州にわたり発生した 2 件のサルモネラ（*Salmonella Vitkin* および *S*. IIIb 61:z52:z53）感染アウトブレイク（2023年 3 月 3 日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染を調査中（2023 年 8 月 1 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. リステリア症 － 2019 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（17）（16）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.17 2023（2023.8.16）2023/8/16**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202317c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【FDA】 FDA は食品中の部分水素添加油に関する最終行政措置を完了する**

米国食品医薬品局（FDA）は、トランス脂肪削減対策の一環として 2015 年に発表した、食品への部分水素添加油（PHO）の使用はもはや一般的に安全と認められるもの（GRAS）ではないとする最終決定に関連する行政措置を完了するため、直接最終規則を発行した。同官報には付随する提案規則も発表した。FDA は、直接最終規則と提案規則について 2023 年 10 月 23 日まで意見を募集し、この間に直接最終規則について重要な反対意見がなければ 2023 年 12 月 22 日に発効する予定である。

**＊ポイント：** GRAS 制度は、1958 年の食品添加物に関する法律の改定により導入されました導入当初は、目的の物質が GRAS に該当するのかを FDA が評価して認証していました（GRAS Affirmation）。その後、1997 年 4 月 17 日に制度が変更されて、事業者が自ら GRAS であることを評価して FDA に通知し（GRAS notification）、通知された内容に FDA が異議を申し立てなければ GRAS Notice Inventory に収載されるという現在の形式になりました。今回の FDA の対応は 2015 年の最終決定の際に個別対応が必要だとして残されていた案件で、PHO の使用が、1958 年以前に認められていたもの、GRAS として FDA が過去に認証していたもの、個別の食品規格の任意成分として規定されていたものについて規則を廃止することが目的です。通常の規則制定では、FDA が提案規則を発表して意見を募集した上で最終規則にするという手続きが取られます。しかし、今回の場合は PHO に関する最終決定の遵守日も過ぎてメーカーの対応も済んでおり、特段の重要な反対意見はないだろうと予想されるため通常の手続きを踏まずに直接最終規則として発表されました。意見募集の期間中に重要な反対意見が寄せられた場合には、同時に発表した提案規則をもとに改めて通常の手続きを進めるとのことです。

**【別添 BfR】 ずっととどまる：食品や環境中のパー及びポリフルオロアルキル化合物**

**ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）が、パー及びポリフルオロアルキル化合物（PFAS）に関する Q&A を更新した。PFAS に関する基礎情報やドイツ国内の状況とともに欧州食品安全機関（EFSA）が 2020 年に発表した評価結果、欧州化学品庁（ECHA）の最近の動向を踏まえた EU の規制状況などを紹介している。**

**【開催案内】**

**令和５年度 国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム**

**「食品の安全を守るレギュラトリーサイエンス研究」**

**日 時：令和 5 年 8 月 23 日（水）13:30～16:30**

**形 式：オンライン開催（Webex Meeting）要登録**

**HP：<http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/index.html>**

**ポスター：[http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/R5/poster.pdf#zoom=100](http://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/R5/poster.pdf" \l "zoom=100)**

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.17 2023（2023.8.16）別添　2023/8/16**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202317ca.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第910回）の開催について　2023/8/24**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年8月29日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

　（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・遺伝子組換え食品等 ２品目（厚生労働省からの説明）

　JPAo006株を利用して生産されたリパーゼ

　　　　チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）

・遺伝子組換え食品等 １品目（農林水産省からの説明）

　　　　チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）

（２）農薬第一専門調査会における審議結果について

・「イソチアニル」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「チオベンカルブ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「チフルザミド」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「ブタクロール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

・「タイロシン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「３-ニトロオキシプロパノール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集につい

　て

・「３-ニトロオキシプロパノールを有効成分とする飼料添加物」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（令和６年度）（案）

（５）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、8月28日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、8月29日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には8月28日（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全委員会20周年企画紹介　2023/8/24**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/20shunen_kikaku.html>

**■食品安全委員会の20年を振り返る**

**第4回　「健康食品」は安全とは限らない〜委員長らが異例の呼びかけ　2023/8/17**

**食品安全委員会委員 松永和紀**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/20shunen/04_kenkosyokuhin.html>

**国民の皆様へ　　「健康食品」について気をつけてほしいこと**

**「食品」であっても安全とは限りません。**

**大量に摂ると健康を害するリスクが高まります。**

**ビタミン・ミネラルをサプリメントで摂ると過剰摂取のリスクがあります。**

**「健康食品」は医薬品ではありません。品質の管理は製造者任せです。**

**誰かにとって良い「健康食品」があなたにとっても良いとは限りません。**

**健康の維持・増進の基本は、栄養バランスのとれた食事、適度な運動、十分な休養です……。**

**それはよく知ってる。だけど、現実には容易じゃない。だから、不摂生をカバーしてくれる食品を探しているんだよ。**

**そんな声が聞こえてきます。だから、いわゆる「健康食品」は人気なのでしょうか？ その市場規模は今や１兆数千億円に上るとされています。一方で、死者が出るほどの深刻な健康被害を招いた製品もあり、摂った後に体の不調を訴える声や安全性を疑問視する論文も多数あります。**

**食品安全委員会は、こんな「健康食品」全般の安全性についての見解を取りまとめました。2015年12月のことです。ここまで3回にわたってご紹介してきた「食品健康影響評価」は、特定の物質や微生物のリスク評価を行ったのですが、これは違います。健康効果をうたう食品、健康効果があると期待されて摂られる食品全般について幅広く、注意すべき点について整理しました。**

**さらに、「国民の皆様へ」と題して当時の佐藤洋委員長とワーキンググループの脇昌子座長（現食品安全委員会委員）が語りかける異例の情報発信もありました。その内容が、冒頭に掲げた5つの項目です。**

**食品安全委員会が扱ってきたさまざまなハザード（危害要因）の中でも、メッセージ性をこれほど重視して情報発信したものはないでしょう。なぜ食品安全委員会はこのような異例の行動に出たのか？ 振り返ります。**

**「自ら評価」を要請され、ワーキンググループ設置**

**食品安全委員会は、残留農薬や遺伝子組換え食品など、厚生労働省や農林水産省などから依頼を受けてリスク評価を行っています。ただし、それだけでなく、自らの意思で評価を行う仕組みを持っています（自ら評価）。なにを対象とするか公募し、企画等専門調査会での議論により選定するのです。第１回で取り上げたトランス脂肪酸、第３回のカンピロバクターも「自ら評価」です。**

**「健康食品」については、「自ら評価をしてほしい」という応募が2013年度と14年度にありました。2015年度にスタートした「機能性表示食品制度」は、13年度から制度創設に向けて検討がはじまっており、健康効果をうたう食品制度への関心が高まっていました。一方で、そうした食品による健康被害の訴えが2000年ごろから繰り返しあり、「無承認無許可医薬品」として薬事法（現在の薬機法）違反に問われた製品もありました。**

**企画等専門調査会の審議でも、各委員から「健康食品」の安全性を問題視する意見が強く出ました。一方で、特定の製品や成分のデータについて、リスク評価を行えるだけの内容を収集するのは困難、という現実もありました。**

**残留農薬や添加物等は、どのような試験を行いどうリスクを評価するのか、国際的に共通の考え方とルールがあります。企業がデータを国に提出し専門家がリスク評価した後でないと、製造や販売は認められません。ところが、「健康食品」の多くは、ほかの普通の食品と同じ扱い。食品表示法で規定された情報（原材料や保存方法など）以外の細かな内容、たとえば製造や衛生管理の方法などは、どこにも提出されず公開もされません。**

**でも、食品を分析すればわかるでしょう……。そう、よく言われるのですが、それも簡単ではありません。そもそも、食品自体が多数の未知の成分を含みます。植物は一説によれば、20万種類の化学物質を含んでいるそうです。分析は、測定したいと思った物質を、条件を整えて測ることはできますが、わからないもの、情報が公開されていないものを第三者が分析するのは非常に難しいのです。**

**こうした食品としての特性も踏まえ、企画等専門調査会で「健康食品」について、「特定の製品等のリスク評価ではなく、健康食品全般についてのリスクや懸念される事項、留意すべき点等について、食品安全委員会としての見解を取りまとめ、情報発信を行うべき」との提言がまとめられました。**

**これを受け、食品安全委員会はワーキンググループを設置して4回にわたって検討しました**

**摂取した後に体の不調を訴える人が数％いる**

**「健康食品」の問題点などを語る際に難しいのは、人により「健康食品」の定義が異なることです。ある人は、緑黄色野菜やヨーグルト、納豆などを指し、別の人は、国が定めた「特定保健用食品」や「栄養機能食品」なども含めます。これらではなく、カプセルや錠剤型の食品について語る人もいます。それぞれ定義が異なり議論にすれ違いが起こりやすいのです。**

**そこでワーキンググループは、医薬品以外で口から摂取され「健康の維持・増進に特別に役立つ」とうたって販売されたり、そのような効果を期待して摂られたりする食品を幅広く「健康食品」とし、検討の対象としました。**

**そして、安全性の懸念が起きやすいものとして、成分が濃縮され過剰摂取につながりやすいカプセル・錠剤・粉末・顆粒形態の製品、世間で「サプリメント」と呼ばれるものなどを中心に議論。2015年12月、『「健康食品」に関する報告書』をまとめました。**

タイムライン が含まれている画像

自動的に生成された説明

**報告書では、国民の4〜6割程度が「健康食品」を摂っていること、女性の方が男性よりも摂っていること、摂取した後に体の不調を訴える人が数％はいて、発疹等のアレルギー症状や胃部不快感、下痢、頭痛やめまいなどの症状が報告されていること、その要因等が、根拠とした論文等を明記して解説しました。それらから、「19のメッセージ」もまとめました。**

**表１　いわゆる「健康食品」に関する 19 のメッセージ**

**Q1「食品」でも安全とは限りません。**

**Q2「食品」だからたくさん摂っても大丈夫と考えてはいけません。**

**Q3 同じ食品や食品成分を長く続けて摂った場合の安全性は正確にはわかっていません。**

**Q4 健康食品」として販売されているからといって安全ということではありません。**

**Q5 天然」「自然」「ナチュラル」などのうたい文句は「安全」を連想させますが、科学的には「安全」を意味するものではありません。**

**Q6「健康食品」として販売されている「無承認無許可医薬品」に注意してください。**

**Q7 通常の食品と異なる形態の「健康食品」に注意してください。**

**Q8 ビタミンやミネラルのサプリメントによる過剰摂取のリスクに注意してください。**

**Q9「健康食品」は、医薬品並みの品質管理がなされているものではありません。**

**Q10「健康食品」は、多くの場合が「健康な成人」を対象にしています。高齢者、子ども、妊婦、病気の人が「健康食品」を摂ることには注意が必要です。**

**Q11 病気の人が摂るとかえって病状を悪化させる「健康食品」があります。**

**Q12 治療のため医薬品を服用している場合は「健康食品」を併せて摂ることについて医師・薬剤師のアドバイスを受けてください。**

**Q13「健康食品」は薬の代わりにはならないので医薬品の服用を止めてはいけません。**

**Q14 ダイエットや筋力増強効果を期待させる食品には、特に注意してください。**

**Q15「健康寿命の延伸(元気で長生き)」の効果を実証されている食品はありません。**

**Q16 知っていると思っている健康情報は、本当に（科学的に）正しいものですか。情報が確かなものであるかを見極めて、摂るかどうか判断してください。**

**Q17「健康食品」を摂るかどうかの選択は「わからない中での選択」です。**

**Q18 摂る際には、何を、いつ、どのくらい摂ったかと、効果や体調の変化を記録してください**

**Q19「健康食品」を摂っていて体調が悪くなったときには、まずは摂るのを中止し、因果関係を考えてください。**

**「天然・自然・ナチュラルだから安全」ではない**

**この中でとくに重要なのは、「摂取量」を考えるのが大事であること、それに、「天然・自然・ナチュラルは、安全を意味するものではない」ということです。**

**天然・自然・ナチュラルで、安全ではないものは多数あります。たとえば、市販されているジャガイモでさえも、ソラニン・チャコニン類を微量含んでいます。しかし、量が少ないので、症状は出ません。ところが、栽培や保管が適切でなければ、ソラニン・チャコニン類の含有量は増え、食中毒につながってしまいます。**

**食品は通常、栄養成分と共に多様な化学物質を含み、重金属や自然に生成される毒性物質なども含有します。しかし、適切に生産され管理された食品を常識的な量、食べるのであれば、それらの摂取量は少なく健康被害を起こすこともほとんどありません。**

**それに、一般的な食品は、いくら体によいと言われても食べられる量に自ずと限界があります納豆が体によい、と聞かされても毎日、何百g、何千gとは食べられません。**

**しかし、「健康食品」の多くは、形態が通常の食品と異なり、成分の抽出や濃縮が施されています。サプリメントはとくに、味やにおいもないため、簡単に多量を摂りやすいようになっています。しかも、毎日摂取するように企業から指示されます。ところが、食品を長期に大量摂取した場合の安全性はほとんど、確認されていないのです。**

**逆に一部の物質は、長期の大量摂取によるリスクが学術論文等で指摘されています。たとえば野菜などに含まれるβ—カロテンは栄養成分で、がんや心筋梗塞などの心血管疾患の予防に効果があるとされてきました。しかし、喫煙者がサプリメントとして長期、大量摂取したところ、肺がんの発生リスクを上げた、と報告されています。**

**セレンや鉄、ビタミンA、ビタミンD、カルシウム、アスコルビン酸（ビタミンC）など、さまざまなサプリメントで、健康被害や長期投与試験でむしろリスクが上がったという結果が報告されています。**

**なお、「健康食品」の中で特定保健用食品は、企業がデータを国に提出し有効性や安全性を消費者庁と消費者委員会、食品安全委員会が評価しています。しかし、特定保健用食品も、摂取する量と摂り方や期間など、限られた条件内でのデータを確認しているのみです。**

**「健康食品」は医薬品とは別もの**

**06.や09.で示されているとおり、「医薬品」ではない、というところも、大きなポイントです。**

**「健康食品」の中には、医薬品成分やそれに似た成分を違法に添加した「無承認無許可医薬品」があります。2000年ごろから、個人輸入された中国製の「健康食品」により、健康被害が報告されるようになりました。2002年以降、ダイエット目的で消費者が購入した中国製の「健康食品」により肝障害、さらには死亡例が多数報告されるように。詳しく調べられ、医薬品成分と構造がよく似た成分が添加されていることがわかりました。**

**ほかにも、さまざまな医薬品成分や、未承認成分が添加されたものが販売され、「無承認無許可医薬品」として摘発されています。2023年5月にも、国民生活センターが「健康茶からステロイド成分が検出された」と公表しました。**

**「健康食品」は医薬品ではないのですから、医薬品のような「効き目」があるはずがないのです。さらに注意すべきは、品質管理の問題点。医薬品は薬機法に基づき「医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準」で要件が定められ、一定の品質が保たれています。それに対して、サプリメント型の健康食品は、医薬品によく似てなんとなく信頼できそうな外見ですが、品質管理は企業任せです。**

**ワーキンググループの議論では、「健康食品」の同一製造ロットの製品を複数分析したところ成分が30〜40％違う、というような事例もあった、と紹介されました。成分がしっかりと混ぜられて製造されなかったのか、あるいは保存が悪かったのか、品質管理が適切になされていないのです。同じ製品、同じロットなのに成分量が異なる、ということは、製品一つ一つにおける安全性も担保されない、ということになります。**

**このほか、鉛や水銀、ヒ素等が不純物として混じる製品も報告されています。**

**こうした重要な内容が、19のメッセージには盛り込まれました。食品安全委員会のウェブサイトに、報告書や19のメッセージ、Q&Aなどが掲載されているのでお読みください。**

**リスク情報を知らず、期待を膨らませる消費者へ**

**座長として2015年、メッセージを発出した脇委員に当時のことを尋ねてみました。**

**「私はあの頃、新開発食品専門調査会の専門委員として特定保健用食品のリスク評価を行っていました。「健康食品」は、医薬品と違ってその効果は限られたもので、しかも、健康を害することもあるのに、そのような情報は消費者の目に触れにくく、効果への期待だけを大きくしやすい状態に置かれていました。そうしたことを憂い、メッセージをまとめ、「健康食品」で健康被害が出ることをなくしたい、という思いを込めました」。**

**異例のメッセージの陰には、委員やワーキンググループ専門委員、事務局職員らの熱い思いがありました。**

**その後、消費者庁もこの問題に積極的に取り組み、国立健康・栄養研究所とも連携して「健康食品５つの問題」を整理。「健康食品を利用する場合には記録をつけ、不調を感じたら使用中断と医療機関受診を」と、健康食品手帳の作成を呼びかけています。**

**また、厚生労働省は食品衛生法を2020年に改正し、「指定成分等含有食品」についての新たな制度をはじめました。健康効果を期待させる成分、食品が多数ある中で、国がさまざまな健康被害に関する情報を収集し調査を行い、審議会などが「特別の注意が必要」と判断したものが「指定成分」です。**

**指定成分になると、含有する食品を取り扱う営業者は、顧客から健康被害などの情報を得たら都道府県等にすぐに届けなければなりません。都道府県等は国に報告し、国が情報を集約して判断でき、迅速な注意喚起や改善指導、販売禁止措置などにつながります。また、製造や加工を行う場合には、国が定める基準、適正製造規範（GMP）を守らなければなりません。さらに、「指定成分等含有食品」であり、特別の注意を必要とする成分またはものであることを、容器包装に表示しなければなりません。**

**現在、表２の４つの物質が指定成分に指定されています。**

テーブル

自動的に生成された説明

**「健康食品を買って害を買う」を避けてほしい**

**食品安全委員会が「健康食品」についてのメッセージを出してから8年がたちました。さて現在、「健康食品」の状況は改善されているのでしょうか？**

**ワーキンググループ座長を務めた脇委員はこう語ります。「さまざまな健康情報が溢れ、その後加わった『機能性表示食品』も含めてたくさんの健康食品が出回り、その中には、残念ながら、未だに医薬品が入った製品もあります。またマスコミもSNSも、消費者心理をあおるような広告や販売方法に満ちています。個人が冷静に、的確な判断をすることがますます難しくなったように感じています。今なお、食品安全委員会が出したメッセージの重要性は変わりません。健康食品を買って害を買ってしまうことにならないように、ぜひ皆様にメッセージを読んでいただきたいと思います。私たちも、健康食品やサプリメントについて注視し続けたいと思います」**

**＜参考文献＞**

**食品安全委員会・「健康食品」に関する情報**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.html>

**食品安全委員会・企画等専門調査会(第９回会合、第13回会合)**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/kikaku_tou/>

**厚生労働省・いわゆる「健康食品」のホームページ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/hokenkinou/index.html>

**厚生労働省・健康被害情報・無承認無許可医薬品情報**

<https://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/>

**国民生活センター・ステロイドが検出された健康茶の類似商品でも検出！−検出された銘柄を飲用されている方は、医療機関にご相談を−（2023年5月17日）**

<https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20230517_2.html>

**消費者庁・健康食品別**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/food_safety_portal/health_food/>

**厚生労働省・指定成分等含有食品との関連が疑われる健康被害情報について**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15311.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和5年6月17日から令和5年6月30日）2023/7/14**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2023&from_month=6&from_day=17&to=struct&to_year=2023&to_month=6&to_day=30&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***ALPS処理水の処分に伴う経営・輸出等の対策に関する特別相談窓口の設置及びアドバイザーの派遣を行います　2023/8/24**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/230824.html>

**■***NEW***ブラジルからの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　202/8/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230818.html>

　　農林水産省は、今般、ブラジルのサンタカタリーナ州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、同州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

ブラジルのサンタカタリーナ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認されたことから、令和5年7月以降、同州からの家きん肉等について輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、ブラジル家畜衛生当局から我が国に提供された、サンタカタリーナ州における鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、同州の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、二国間の輸入条件に基づき、本日付けで同州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

※家きん肉、家きん肉製品、家きん卵（殻付卵、液卵等）が停止解除の対象で、初生ひな、種卵等の生きた家きんについては、引き続き停止中です。

　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■スイス及びリヒテンシュタインが日本産食品の輸入規制を撤廃（東日本大震災関連）　2023/8/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/230815.html>

　　日本産食品に対する放射性物質輸入規制について、EU、ノルウェー及びアイスランドに続き本日、スイスは、当該規制に係る国内規則の改正を完了し、輸入規制を撤廃しました。

なお、リヒテンシュタインは、スイスとの関税同盟に基づき、スイスの措置が適用されます。

1.概要

平成23年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、スイスは、日本産食品に対して輸入規制を行ってきましたが、令和5年8月3日（木曜日）に欧州連合（EU）が輸入規制を撤廃したことを受け、本日、スイスも、当該規制に係る国内規則の改正を完了し、輸入規制を撤廃しました。

なお、リヒテンシュタインは、スイスとの関税同盟に基づき、スイスの措置が適用されます。

これらの国が規制を撤廃したことは被災地の復興を後押しするものであり、農林水産省として歓迎します。

（参考）

令和5年8月3日付けプレスリリース「EU、ノルウェー及びアイスランドが日本産食品の輸入規制の撤廃規則を施行（東日本大震災関連）」

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/230713_13.html>

お問合せ先

輸出・国際局国際地域課　担当者：内田、西川

代表：03-3502-8111（内線3471）ダイヤルイン：03-3502-5929

**■ブラジルからの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2023/8/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230810.html>

　　農林水産省は、今般、ブラジルのエスピリトサント州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、同州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

ブラジルのエスピリトサント州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認されたことから、令和5年6月以降、同州からの家きん肉等について輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、ブラジル家畜衛生当局から我が国に提供された、エスピリトサント州における鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、同州の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、二国間の輸入条件に基づき、本日付けで同州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

※家きん肉、家きん肉製品、家きん卵（殻付卵、液卵等）が停止解除の対象で、初生ひな、種卵等の生きた家きんについては、引き続き停止中です。

　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■漁業調査船「開洋丸」の一般公開について　2023/8/4　水産庁**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/230804.html>

　　漁業調査船「開洋丸（かいようまる）」は、令和5年8月26日（土曜日）、晴海ふ頭H3バース（晴海ふ頭公園横の岸壁）にて一般公開を実施します。令和5年3月に就航したばかりの「開洋丸」の船上および船内施設の見学、漁業調査業務等の紹介を行います。みなさまのお越しをお待ちしています。

　1.概要

　　「開洋丸」は、水産庁に所属する大型漁業調査船で、各種調査機器と大型表中層トロール網などにより、水生生物の高精度な資源調査及び海洋環境調査等の高度な調査を行っています。

　水産資源の持続的な利用のため、また、食の将来を守るために行っている「開洋丸」の調査は近海から遠洋までの広い海域において行われることから、日頃なかなかその姿をみなさまにお見せすることができません。そこで、この機会に「開洋丸」の船上および船内施設、調査機器等をご観覧いただくとともに、漁業調査業務の意義や魅力についてご紹介します。

2. 開催日程および場所

日程：令和5年8月26日（土曜日）午前9時30分から午後4時00分

受付：午前9時00分から午後3時30分

場所：晴海ふ頭 H3バース（晴海ふ頭公園横の岸壁）に係留中の「開洋丸」（アクセスについては、添付資料をご覧ください）

※小雨開催、荒天により中止する場合がございます。

※先着1000名様（令和5年8月10日追記）

3. 主な公開内容について

1．開洋丸の船上および船内施設の公開

・船の操作をおこなう航海船橋甲板の見学

・大きなエンジンルーム（機関室）の限定見学ツアー

・観測機器および調査機器の見学 など

2. 展示やイベント

・漁業調査活動の写真や映像の紹介

・魚食の魅力紹介

・乗船員が撮影した写真コンテスト

・記念撮影スポット など

4. 注意事項

・ご来場には公共交通機関のご利用をお願いいたします

・抱っこが必要なお子様連れの乗船はご遠慮ください

・小学生以下は保護者同伴で乗船して下さい

・船内には急な階段や段差が多いため、ヒールやサンダル履きはご遠慮下さい

・事故や混雑防止のため、スタッフの指示に従って下さい

・船内にはスーツケースなどの大きな荷物を持ち込むことはできません

・貴重品や手荷物のお預かりはしておりませんので、ご自身で管理してください

・当日の混雑状況によっては乗船までお待ちいただく場合がございます、予めご了承くださ

　い

・船内や船上での飲食や喫煙は固く禁止です

・その他、他の乗船者のご迷惑になる行為はおやめ頂きますようお願いいたします

※晴海ふ頭公園内の使用に関する禁止事項をご確認ください。

＜外部リンク＞晴海ふ頭公園｜海上公園なび (tptc.co.jp)

<https://www.tptc.co.jp/park/02_01>

5．添付資料

漁業調査船「開洋丸」一般公開チラシ(PDF : 356KB)（令和5年8月10日差替え）

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/attach/pdf/230804-1.pdf>

お問合せ先

水産庁増殖推進部漁場資源課　担当者：水垣、中里

代表：03-3502-8111（内線6803）ダイヤルイン：03-6744-2380

漁政部漁政課船舶管理室　担当者：市村、小坂

代表：03-3502-8111（内線6515）ダイヤルイン：03-3501-9562

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***第6回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年8月23日)　2023/8/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/034398.html>

**■***NEW***第5回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年8月22日)　2023/8/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/034397.html>

**■***NEW***「食品中の放射性物質」のページにALPS処理水に係るモニタリングと水産物の放射性物質調査の結果についてのリンクを掲載しました　2023/8/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/>

**■***NEW***令和5年7月27日 機能性表示食品に対する景品表示法に基づく措置命令を踏まえた食品表示法における対応について(情報提供)　2023/8/24**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/#overview>

[機能性表示食品に対する景品表示法に基づく措置命令を踏まえた食品表示法の対応について(情報提供)(別紙1含む)[PDF: 254KB]](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_230727_0001.pdf)

[別紙2 回答状況一覧(73件)[PDF: 377KB]](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_230727_0002.pdf)

**■第4回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年8月10日)　2023/8/16**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/034334.html>

**■第3回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年8月10日)　2023/8/16**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/034333.html>

**■第2回「送料無料」表示の見直しに関する意見交換会(2023年8月9日)　2023/8/16**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/review_meeting_008/034332.html>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★牧商事「上州名物あげうどん 胡麻味」 - 回収　アレルゲン表示「乳成分・さば・鶏肉」の表示欠落　2023/8/24**

**★千鳥饅頭総本舗「落雁（全7商品）」 - 返金／回収　真菌を検出したため　2023/8/23**

**★御菓子司桐峰「桐峰特製　花ぱん」 - 回収　アレルゲン「乳由来」の表示欠落　2023/8/23**

**★まいばすけっと（山吹町店）「漬物他、牛乳・飲料・惣菜等」 - 返金／回収　冷蔵ショーケースの故障により、商品の保存温度と異なる温度で陳列販売　2023/8/23**

**★ニイノ「白鷹馬刺しブロック」 - 返金／回収　腸管出血性大腸菌O157に汚染している可能性があるため　2023/8/23**

**★方谷の里農産加工「高地栽培ピオーネで作った雲海セミドライピオーネ、雲海ピオーネ」 - 返金／回収　カビによる汚染　2023/8/23**

**★日吉製菓「豆乳入りどら焼き」 - 交換／回収　カビによる汚染　2023/8/23**

**★ツルヤ（上諏訪店）「デンマーク産　赤魚（解凍）切身」 - 返金／回収　消費期限・保存温度の誤表示（誤：23.9.3、-5℃以下、正：23.8.23、4℃以下）　2023/8/23**

**★谷口治「黒大豆」 - 返金／回収　殺虫剤混入のおそれ　2023/8/22**

**★第一楼ジャパン「赤魚の煮付」 - 返金／回収　加熱不足による袋膨張発生　2023/8/22**

**★しんこう「たまごパン」 - 返金／回収　カビの発生の可能性があるため　2023/8/22**

**★おかだ菓子舗「モンモオ（バラ売り、箱詰め）」 - 交換／回収　賞味期限前にカビが発生　2023/8/22**

**★カリン・ブルーメ「ジューシーゼリー（青島みかん、きよみ、ニューサマーオレンジ、湘南ゴールド）」 - 返金／回収　キャップ巻締工程の不具合による液漏れ・カビの発生の可能性があるため　2023/8/22**

**★MIE PROJECT「ローシュガー グラノーラ（アーモンド&ヘーゼルナッツ）」 - 返金／回収小石が混入している可能性があるため　2023/8/18**

**★デキシンフーズ「オーストラリア産生鮮トリュフ」 - 回収命令　ディルドリンが0.02ppm（基準値0.01ppm）検出されたため　2023/8/18**

**★大空ファーム「雲海たまご（全13商品）」 - 返金／回収****スルファメトキサゾール0.03ppmを検出　2023/8/18**

**スルファメトキサゾール**

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%AB%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%A1%E3%83%88%E3%82%AD%E3%82%B5%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%AB>

　　スルファメトキサゾール（Sulfamethoxazole、略号：SMX または SMZ）とは、スルホンアミド系の静菌的抗生物質のひとつ。これはしばしばトリメトプリムとの組み合わせで相乗効果（シナジー）を示す。

　　スルファメトキサゾール単剤では耐性獲得のために無効となりやすいため、日本ではトリメトプリムとの合剤としてしか販売されていない（2010年現在）。これを日本ではST合剤と略すことが多い。ST合剤での商品名はバクタ（塩野義製薬）やバクトラミン（中外製薬）など。

MRSAを含むブドウ球菌・大腸菌・インフルエンザ菌・嫌気性菌に感受性を持つことが多いまた尿路感染症でしばしば処方される。副鼻腔炎においてペニシリン系薬剤の代替薬として用いられることもある。トキソプラズマ症・ニューモシスチス感染症でも用いられる。

**★藤谷果樹園「梅干し」 - 返金／回収　食品表示の欠落（本来の賞味期限：小分け包装後6か月間）　2023/8/18**

**★タートルベイ醸造「琴引の塩サイダー」 - 返金／回収　虫類の混入　2023/8/18**

**★御菓子御殿「沖縄そば」 - 交換／回収　包装不良による品質劣化（かび）の発生　2023/8/18**

**★西堀酒造「スペーシアX　西堀酒造ニューポット」 - 回収　異物混入（虫／蚊）　2023/8/18**

**★アンビカコーポレーション「Gits アルラスワラ、ほか5商品」 - 返金／回収　指定外添加物TBHQ 0.003g/kg検出による回収命令　2023/8/18**

**★日琉（業務スーパー南風原店）「ワンダーおばさんのチーズケーキ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.8.17、正：23.8.11）　2023/8/18**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの**

**★細菌性食中毒★**

**■24人が下痢や発熱…『滝眺めながら流しそうめん』の人気スポットで食中毒 他にも症状訴える連絡　8/17(木) 21:30配信　石川テレビ****石川県津幡町**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/193ba9a7e019b55f651378c6dea484fe0bbe687f>

**食中毒事故の発生について　令和５年８月 17 日　薬事衛生課　　石川県津幡町**

**調査中**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/r5/documents/0817yakujieiseika.pdf>

　１ 発生年月日（患者の初発年月日）　令和５年８月 12 日（土）

２ 対象施設

屋 号：大滝観光流しそうめん

所在地：津幡町

業 種：飲食店営業（めん類食堂）

３ 発生の端緒

令和５年８月 16 日（水）10 時 45 分ごろ、富山県在住者から「８月 11 日 12時頃に友人家族と津幡町内の飲食店で食事をしたところ、８月 12 日に下痢をした。同行した家族、友人家族も同様の症状がある」旨、石川中央保健福祉センターへ連絡があり、その後同様の申し出が複数あった。

４ 調査内容

石川中央保健福祉センターの調査では、

 ５グループ 29 人中 24 人（県内在住者も含む）が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈していること

 これら有症者に共通するのは「大滝観光流しそうめん」が提供した飲食物以外にないこと

以上のことから、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と判断した。

５ 患 者　２４人（２歳～５０歳台の男女）うち、１４人が医療機関を受診したが、入院者なし。

６ 主な症状　腹痛、下痢、発熱等

７ 原因食品

８月 11、12 日に当該施設が提供した食事（そうめん、イワナ塩焼き、かき氷、ウインナー）

８ 病因物質　調査中

９ 措 置

石川中央保健福祉センターでは、８月 17 日(木)から３日間、当該施設を営業停止処分にするとともに、施設の清掃、消毒及び従業員に対する衛生教育の実施を指示した。

参考 食中毒発生状況

令和５年度(４月から本日まで本件を含む) ８件 患者 ４９人(うち金沢市１件 １人)

令和４年度同期 ６件 患者 ９人(うち金沢市２件 ３人)

令和４年度通年 １２件 患者 ３４人(うち金沢市６件 ２２人)

**「大滝観光流しそうめん」を利用された方へ　石川県**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/documents/shokuchudokuoshirase.pdf>

８月 11 日(金)～12 日(土)に上記施設を利用し、その後、下痢、発熱等を発症した方が複数発生しました。本県では、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と判断し、当該施設を３日間（8 月 17 日(木)～８月 19 日(土)）の営業停止処分としたところです。

原因食品及び病因物質については、現在調査中ですが、症状としては、「腹痛」、「下痢」、「発熱」、「倦怠感」などを確認しております。

８月 11 日(金)～８月 17 日(木)11 時までに当該施設を利用された方で症状がある方は、かかりつけ医又は近隣の医療機関を受診してください。

その他ご相談や情報提供等がある方は、お住まいの最寄りの保健所、保健福祉センター又は薬事衛生課にご連絡ください。※下記電話にご連絡の上、音声案内に従ってください。

＜相談受付時間 9:00～17：00＞

○金沢市在住の場合　金沢市保健所 076-234-5112

○加賀市・小松市・能美市・川北町在住の場合　南加賀保健福祉センター 0761-22-0794

○白山市・野々市市・かほく市・津幡町・内灘町在住の場合

石川中央保健福祉センター 076-275-2253

○七尾市・羽咋市・宝達志水町・志賀町・中能登町在住の場合

能登中部保健福祉センター 0767-53-6892

○輪島市・珠洲市・穴水町・能登町在住の場合

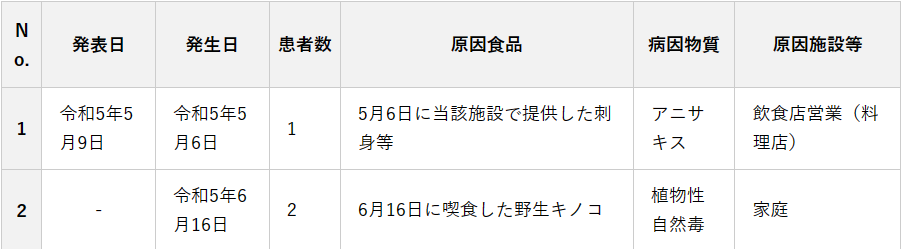
能登北部保健福祉センター 0768-22-2028

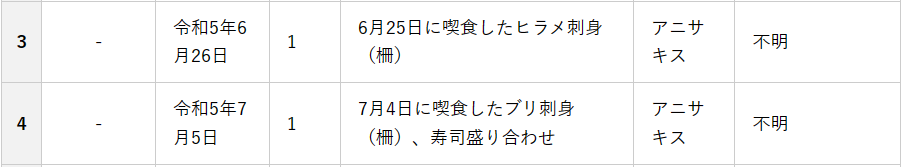
○健康福祉部薬事衛生課食品衛生グループ　電話番号：076-225-1443

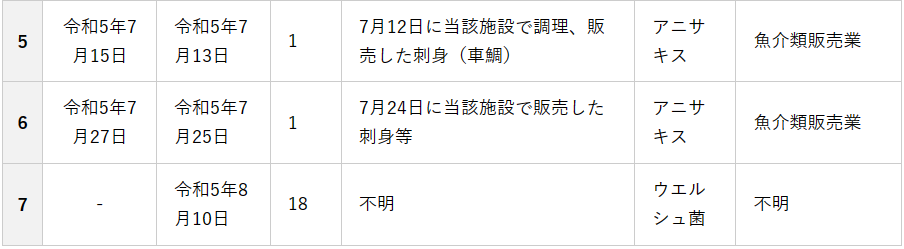
メールアドレス：[seieika2@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:seieika2@pref.ishikawa.lg.jp)

**発生した食中毒の概要　令和5年度　石川県**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/yakuji/syokuhin/hasseisu_tyuudoku.html>







**■相模原市のキャンプ場で小学生13人搬送　集団食中毒か？**

**8/15(火) 15:30配信　tvkニュース（テレビ神奈川）　神奈川県相模原市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6a5c97aa243428a6659ca3d687ff453649ccb01b>

**■総菜店の弁当「卵とじかつ丼」食べ食中毒　サルモネラ菌検出　10歳以下から50代の男女7人に症状　8/24(木) 21:30配信　NBS長野放送****長野県長野市**

**サルモネラ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bf9258b9de78cc09b752953e68a826bdafbfa7da>

**長野保健所管内のそうざい屋でサルモネラ属菌による食中毒が発生しました　2023/8/24**

**長野県（健康福祉部）　長野県長野市**

**サルモネラ**

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/ch230824.html>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/documents/ch230824.pdf>

本日、長野保健所は、千曲市内のそうざい屋「（株）ゼストクックＡコープあんず店」を食中毒の原因施設と断定し、当該施設の営業者に対し令和５年８月 24 日から 令和５年８月 26 日まで、３日間の営業停止を命じました。

患者は、８月 13 日に当該施設で調理し、販売された「卵とじかつ丼」を喫食した ５グループ９名中の３グループ７名で、長野保健所が行った検査により、患者便からサルモネラ属菌が検出されました。

　【事件の探知】

令和５年８月 18 日の午前 11 時 30 分頃、医療機関から「同一の施設で購入した卵とじかつ丼を喫食した２グループ３名が胃腸炎症状を呈し当院を受診した。同じように卵とじかつ丼を喫食して胃腸炎症状を呈した者が他にも複数名いるようだ。」旨の連絡が長野保健所にありました。

【長野保健所による調査結果概要】

○患者は、８月 13 日に当該施設で調理し、販売された「卵とじかつ丼」を喫食した５グループ９名中の３グループ７名で、８月 14 日午前０時頃から、下痢、発熱、腹痛などの症状を呈していました。

○患者は、当該施設で調理し、販売された「卵とじかつ丼」を共通して喫食していました。

○長野保健所が行った検査により、患者便からサルモネラ属菌が検出されました。

○患者の症状は、サルモネラ属菌による食中毒の症状と一致していました。

○患者を診察した医師から食中毒の届出がありました。

○以上のことから、長野保健所は当該施設で調理し、販売された「卵とじかつ丼」を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所　長野保健所

患者関係

　　発 症 日 時 ８月 14 日 午前 0 時頃から

患 者 症 状 下痢、発熱、腹痛など

患 者 所 在 地 千曲市、坂城町

患 者 数及 び 喫 食 者 数

患者数／喫食者数：７名／９名

（患者内訳）男性：４名（年齢：10 歳代以下～50 歳代）

女性：３名（年齢：10 歳代～50 歳代）

入 院 患 者 数 １名

医療機関受診者数 ４名（受診医療機関数：３か所）

原因食品　８月 13 日に当該施設で調理し、販売された「卵とじかつ丼」

病因物質　サルモネラ属菌

原因施設

施 設 名 （株）ゼストクックＡコープあんず店

施 設 所 在 地 千曲市

営業許可業種 飲食店営業（そうざい屋）（仕出し屋）（弁当屋）

措 置

食品衛生法に基づく営業の停止

令和５年８月 24 日から令和５年８月 26 日まで３日間

（この施設は８月 19 日から営業を自粛しています。）

検査結果　サルモネラ属菌　患 者 便：７検体中６検体から検出

［参 考］

患者が喫食した主なメニュー 卵とじかつ丼（ご飯、とんかつ、玉ねぎ、卵、桜漬け）

［参 考］長野県内（長野市・松本市含む）における食中毒発生状況（本件含む）

テーブル

自動的に生成された説明

**■馬刺しを食べ…17人がO157の食中毒に　8/22(火) 18:38配信　テレビユー山形**

**山形県白鷹町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/67fba703370c56fcca97fc4d27ca85b9b940e947>

**腸管出血性大腸菌O157食中毒の発生について　2023/8/22　山形県白鷹町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/05-08-22_o157.html>

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/35600/050822o157pures.pdf>

　　令和５年８月 14 日から 21 日にかけて、医療機関から県内保健所に腸管出血性大腸菌 O157の患者発生の届出があり、患者へ聞き取りを行ったところ、（株）ニイノ（食肉処理施設）が加工した馬刺しを共通して食べていたことから、置賜保健所は、当該施設を原因とする食中毒と断定しました。なお、患者に重症者はおりません。

１ 発生状況概要

発症日時※ 令和５年８月 10 日～18 日（喫食日 令和５年８月５日～13 日）

患 者 数※

１０グループ １７名（男性９名、女性８名）10 歳未満～70 代（健康保菌者を含む）

患者住所※ 寒河江市、山形市、長井市、南陽市、上山市、仙台市

受診者数※ 16 名

入院患者※ ６名

症 状※ 下痢、腹痛、発熱

病因物質 腸管出血性大腸菌 O157原因食品※ ８月５日から 13 日に当該施設が販売した馬刺し（推定）原因施設

　名 称 （株）ニイノ

所在地 西置賜郡白鷹町

措 置 食品衛生法に基づく営業停止（令和５年８月 22 日～24 日の３日間）

※調査中

２ 調査結果

患者に共通する食品は、当該施設が８月５日から 13 日に販売した馬刺しのみであり、複数の患者について医療機関から腸管出血性大腸菌感染症発生届が提出された。

３ 施設の対応

８月 21 日から営業を自粛している。また、８月 19 日から８月 21 日までに販売した馬刺し（消費期限８月 22 日～23 日）の自主回収を行っている。

４ 保健所での対応

置賜保健所では、汚染経路等の調査を行うとともに、施設の消毒等衛生管理及び再発防止の指導を行っている。　８月５日から 13 日に当該施設で販売された馬刺しを食べて体調を崩した方は、お住まいの管轄の保健所に御相談いただくよう周知をお願いします。

（受付時間 平日 8:30～17:15）

村山保健所保健企画課感染症対策室 023-627-1105

最上保健所保健企画課感染症対策担当 0233-29-1268

置賜保健所保健企画課感染症対策担当 0238-22-3002

庄内保健所保健企画課感染症対策担当 0235-66-4920

山形市保健所健康増進課精神保健・感染症対策室 023-616-7274

テーブル

自動的に生成された説明

**■居酒屋で鳥肉のタタキなどを食べた男性4人が食中毒　23日まで営業停止処分　高松市**

**8/21(月) 16:43配信　KSB瀬戸内海放送****香川県高松市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/56d364475c0005b3153303d50ae6c2ba337331d1>

**食中毒が発生　令和５年８月21 日　高松市保健所生活衛生課　香川県高松市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/jigyosha/kankyo_eisei/shokuhin/press/eisei_up20230125.files/gaiyou.pdf>

１ 概要

令和５年８月16 日（水）12 時頃、市内医療機関の医師から、「グループで居酒屋を利用した後、体調を崩した患者１名を診察した。この患者の他、当該グループの複数名が体調を崩しているようである。」旨の連絡がありました。

このグループ（18～60 歳 男性４名）を調査したところ、８月９日（水）に古馬場町にある「居酒屋のろし」を利用しており、４名中４名が下痢、腹痛、発熱などの食中毒様症状を呈していることが判明しました。

この４名の有症者に共通する食事は、この施設で提供された食事しかないこと、有症者のうち２名の便からカンピロバクター・ジェジュニが検出され、有症者の症状及び潜伏期間がカンピロバクターによるものと一致したこと、有症者のうち２名が医療機関を受診しており、診察した医師から食中毒患者届出票が提出されたことから、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、令和５年８月 21 日（月）から令和５年８月23 日（水）までの３日間の飲食店営業の停止処分としました。

なお、入院患者はなく、全員快方に向かっています。

２ 摂食者数 ４名

３ 有症者数 ４名

４ 原因施設

所在地 高松市

施設名 居酒屋のろし

５ 献立内容 鳥肝刺し、鳥タタキ、鳥ユッケ、焼き鳥、骨付き鳥、から揚げ、だし巻き卵、ポテトサラダなど

６ 検体 調理器具等のふき取り（包丁、冷蔵庫の取っ手など10 検体）

従業員便（２検体）

有症者便（４検体）

　　検査機関 高松市保健所 他

７ 原因食品 調査中

８ 病因物質 カンピロバクター・ジェジュニ

９ 行政処分 令和５年８月21 日（月）から８月23 日（水）までの３日間の飲食店営業の停止処分

10 参考事項　今年の食中毒発生件数及び患者数（今回を除く）

１件 ７名（うち死者０名、香川県全体では ４件 51 名）

昨年の食中毒発生件数及び患者数

１件 ２名（うち死者０名、香川県全体では ５件 53 名）

**■4歳以上の18人が下痢や嘔吐　リゾートホテルで食中毒　調理場を営業停止　三重・津市**

**8/24(木) 12:50配信　三重テレビ放送****三重県津市**

**黄色ブドウ球菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1fc4656f2c2c89d714ed169632088704f512c720>

**食中毒の発生について（令和５年８月２３日）　三重県津市**

**黄色ブドウ球菌**

<https://www.ccfhs.or.jp/hp/wp-admin/upload.php>

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001093241.pdf>

　１ 概要

令和５年８月１４日（月）１３時３０分頃、愛知県の住民から津保健所へ、８月１３日（日）　　から１４日（月）にかけて津市内の宿泊施設を利用したところ、同行者が嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈している旨の通報がありました。

また、同日１６時３０分頃、香川県の住民から同様の通報がありました。

津保健所が調査したところ、８月１３日（日）から１４日（月）にかけて当該宿泊施設に宿泊し当該施設が提供した食事を喫食した１１グループ６３名中１８名が同様の症状を呈していることが判明しました。

津保健所は、有症者の便、調理従事者の便、当日の保存食及び施設のふき取り検査から黄色ブドウ球菌（エンテロトキシン産生）が検出されたこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該施設が提供した食事が原因の食中毒と断定し、本日付けで営業禁止処分としました。

なお、有症者は全員回復しています。

２ 発病状況

１）喫食者 ６３名中 有症者数 １８名（入院患者 ０名）

２）有症者の年齢構成テーブル

自動的に生成された説明

３）有症者 最低年齢（４歳、女）最高年齢（６１歳、男）

４）主な症状 嘔吐（１～３０回以上）、下痢（３回～３０回）、発熱（３６．８℃～３９．０℃）

５）発病日時 令和５年８月１４日（月）１０時００分 ～ 同日１６時００分

３ 原因施設

所在地　津市

屋 号　美杉リゾートホテルＡＮＮＥＸ

業 種 飲食店営業（業態：旅館、ホテル）

４ 原因食事

１）令和５年８月１４日（月）に提供された朝食

２）主なメニュー：ウインナー、コーンフレーク、しょうが天、茄子煮びたし、ハッシュドポテト、焼鯖、ローズマリーチキン、ロールキャベツ等

※原因食品は現在調査中です。

５ 原因物質　黄色ブドウ球菌

（参考） ※令和５年８月２３日（水）現在の三重県における食中毒発生状況（本件を含む）

テーブル

自動的に生成された説明

**■国内最大級のロックフェス「ライジングサン」で食中毒発生　運営謝罪「調査に時間を要し報告が遅れた」　8/21(月) 10:19配信　スポニチアネックス****北海道石狩市**

**黄色ブドウ球菌・セレウス菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9848bb28aa612838fd7563f9104bc4f3c59e875c>

**食品衛生法違反者等の公表について　2023/8/18　北海道石狩市**

**黄色ブドウ球菌・セレウス菌**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kse/sho/tyu/163211.html>

　公表年月日　令和5年(2023年)8月18日(金)

区分　食中毒の発生

発生年月日　令和5年(2023年)8月11日(金)

患者数　６名

患者の症状　嘔吐、下痢、嘔気、腹痛等

原因食品　当該施設が8月11日(金)に調理・提供した食事

病因物質　黄色ブドウ球菌及びセレウス菌

原因施設

施設名称：アロハキッチンマハロハ

施設所在地：北海道石狩市

業種名：飲食店営業（臨時営業）

措置状況等

江別保健所は、食品の衛生的な取扱い及び調理従事者に対する衛生教育の実施を指示した。

備考

当該施設の許可期限は、8月11日(金)から13日(日)までである。

なお、当該施設は8月12日(土)及び13日(日)は営業を自粛している。

（問い合わせ先）

北海道石狩振興局保健環境部保健行政室（北海道江別保健所）生活衛生課

電話：011-383-2111

北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課

電話：011-204-5261

**■飲食店のミルクシェイクでリステリア食中毒　３人死亡、３人入院　米ワシントン州タコマ**

**8/21(月) 16:30配信　CNN.co.jp　全文　アメリカワシントン州**

**リステリア**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b024d6c3d1a01d546fea3bccd5df268a0ef8a641>

**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2023/8/21　中野区**

**アニサキス**

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/475000/d001763.html>

　公表年月日　令和5年8月21日

被処分者業種等　飲食店営業

施設の名称及び営業者氏名等　鮨若駒

施設所在地等　東京都中野区

適用条項　食品衛生法第6条

不利益処分を行った理由　令和5年8月10日に提供した食事による食中毒

不利益処分等の内容　令和5年8月21日に営業の一部停止命令

備考

原因物質：アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌O157に感染し幼児が重症**

**8/23(水) 11:14配信　とちぎテレビ　栃木県宇都宮市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ca5eb3cd7c72d7d17ac60c3b61c0d337d66d294b>

**腸管出血性大腸菌感染症(3類)患者の発生について　2023/8/22　栃木県宇都宮市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/20230822tyoukansyukketuseidaityoukin.html>

　1. 概要

令和5(2023)年8月21日、県南健康福祉センター管内の医療機関（医師）から腸管出血性大腸菌感染症に感染し、溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症した患者の届出があり、現在、感染源等の調査を行っている。

2. 患者の情報について

宇都宮市保健所管内 幼児 男性

初診年月日：令和5年(2023)年8月17日

診断年月日：令和5年(2023)年8月21日

届出年月日：令和5年(2023)年8月21日

経過：令和5年(2023)年8月15日に発病し、これまでに腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、溶血性尿毒症症候群（HUS）の症状が確認されている。

病因物質：腸管出血性大腸菌（血清型：O157）

※　届出のあった患者は、現在、入院加療中である。

3. 県の対応

管轄の健康福祉センターでは、当該情報の探知後、家族に対して、腸管出血性大腸菌感染症の予防対策（健康管理、手洗い等の励行、患者発生時の汚物等の適切な消毒処理等の迅速な対応）の指導等を行うとともに、感染要因等の調査を行っている。

4. 県内の発生状況について

腸管出血性大腸菌感染症の患者の発生動向は、栃木県感染症情報センターホームページ(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidctop.html>　）により情報提供しています。

【参考】近年における腸管出血性大腸菌感染症患者発生人数（発生届出数）

テーブル

自動的に生成された説明

**■感染症の予防のための情報提供について　令和５年８月21日（土）　三重県津市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001093073.pdf>

　病 名　腸管出血性大腸菌感染症 （О１５７）

年齢及び性別　１０代・男性　職 業　中学生

住 所　津市

発病年月日　令和 ５年 ８月１４日

診断年月日　令和 ５年 ８月２１日

（患者発生の経過）

８月１４日 下痢、倦怠感がみられた。

８月１５日 腹痛、下痢、嘔吐、倦怠感がみられた。

８月１６日 症状継続したため津市内の医療機関を受診した。

８月２１日 ８月１６日の便検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。

現在、患者に症状はありません。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（津保健所）

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）



**■感染症の予防のための情報提供について　令和５年８月１９日（土）　三重県松阪市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001092899.pdf>

　病 名　腸管出血性大腸菌感染症 （О１５７）

年齢及び性別　１０代・男性

職 業　高校生

住 所　松阪市

発病年月日　令和 ５年 ８月１２日

診断年月日　令和 ５年 ８月１９日

（患者発生の経過）

８月１２日 腹痛、軟便がみられた。

８月１６日 腹痛、水様性下痢、血便がみられたため、松阪市内の医療機関を受診した。

８月１９日 ８月１６日の便検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。

患者は現在、快方に向かっています。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（松阪保健所）

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）

**■腸管出血性大腸菌感染症の発生について　令和５年８月１７日 １５：００ 現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課****福岡県福岡市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/112842/1/050817O157.pdf?20230818090634>

中央区内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の発生届出がありましたのでお知らせします（入院事例）。

１ 概 要

＜患者＞

　　８月１０日（木） 西区居住の20 歳代男性に発熱、下痢の症状が出現。西区の医療機関Ａを受診。

　　８月１１日（金） 腹痛、血便出現。

　　８月１２日（土） 早良区の医療機関Ｂを受診。

　　８月１３日（日） 症状継続のため早良区の医療機関Ｃを受診。医療機関Ｃの紹介で中央区の医療機関Ｄに受診・入院。

　　８月１６日（水） 医療機関Ｄによる検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症（O157：VT 型不明）と判明。

医療機関Ｄが中央保健所に腸管出血性大腸菌感染症発生届出。

中央保健所が患者等の健康調査、感染拡大防止の指導等を実施。

２ 患者の状況　入院治療中だが、快方に向かっている。

３ 行政対応　患者の健康調査、接触者調査及び感染拡大防止の指導を実施。

４ 原因 調査中

腸管出血性大腸菌感染症患者・感染者の福岡市への届出状況（令和５年８月17日現時点）

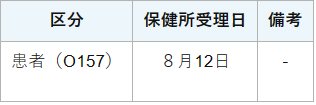


**■感染症の発生について　公開日 2023年08月17日　北海道小樽市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2023081500038/>

　　令和５年第32週（８月７日～８月13日）、小樽市内で腸管出血性大腸菌感染症が発生したのでお知らせします。



**■腸管出血性大腸菌感染症が発生しました　2023/8/16　健康推進課　岡山県**

**感染症　腸管出血性大腸菌Ｏ２６**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/871253_8281961_misc.pdf>

　発生場所 美作保健所勝英支所管内

患 者 １名（女、４０歳代）

発症年月日 令和５年８月６日

速報年月日 令和５年８月１６日

措 置　そ の 他

○患者は８月６日に発症し、腹痛、水様性下痢、血便等の症状があった。

○８月８日に医療機関を受診、８月９日に別の医療機関を受診し、検査したところ、８月１４日にベロ毒素産生性腸管出血性大腸菌Ｏ２６による感染症と確認されたため、届出があった。

○現在、症状は回復している。

○接触者については、現在調査中である。

備 考

患者等累計（本件を含む）

本年４７名 （岡山市２５名、倉敷市１３名含む）

（参考）

令和４年 ６７名

**■腸管出血性大腸菌感染症の発生について　令和５年８月１５日 １５：３０ 現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/112842/1/050815O157.pdf?20230818090634>

東区内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の発生届出がありましたのでお知らせします（入院事例）。

１ 概 要

＜患者＞

８月 ７日（月） 糟屋郡居住の４歳女児に下痢の症状が出現。

　　８月 ８日（火） 腹痛、嘔吐出現。

　　８月 ９日（水） 東区内の医療機関に救急搬送され、入院。

８月１５日（火） 医療機関による検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症（O157： VT2）と判明。

医療機関が東保健所に腸管出血性大腸菌感染症発生届出。

東保健所が患者等の健康調査、感染拡大防止の指導等を実施。

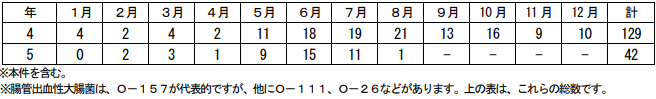
２ 患者の状況　入院治療中（溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症）

※溶血性尿毒症症候群（HUS）…ベロ毒素で血球や腎臓の尿細管細胞などが壊されたりすることで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害（乏尿・無尿）、脳症（けいれん・意識障害）などの合併症を起こす病気。子どもや高齢者が発症しやすい。

３ 行政対応　患者の健康調査、接触者調査及び感染拡大防止の指導を実施。

４ 原因 調査中

腸管出血性大腸菌感染症患者・感染者の福岡市への届出状況（令和５年８月15日現時点）



**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■小アジのパックにフグ混入　中津川市のスーパーで販売、食べずに返品を　岐阜県**

**8/24(木) 21:15配信　中京テレビＮＥＷＳ　岐阜県中津川市**

**フグの混入**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/58f933db8e27d98a7a9bd32b9e7fb1dcae59f946>

**販売された「小あじ」へのふぐの混入について　記事ID：0315911 2023年8月24日更新**

**岐阜県中津川市**

**フグの混入**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/315911.html>

　中津川市のスーパーマーケット「スマイル駒場店」で8月23日（水曜日）に販売された「小あじ」のパックにふぐが混入していたことが判明し、当該事業者により商品の自主回収が行われています。

　　なお、現在のところ、健康被害に関する情報は入っていません。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/365881.pdf>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/365854.pdf>

　中津川市のスーパーマーケット「スマイル駒場店」で８月２３日（水）に販売された「小あじ」

のパックにふぐが混入していたことが判明し、当該事業者により商品の自主回収が行われています。

　なお、現在のところ、健康被害に関する情報は入っていません。

１ 探知

８月２４日（木）９時頃、株式会社スーパーチェン主婦の店中津川店から、「８月２３日１９時頃、スマイル駒場店で陳列販売していた小あじからふぐが発見されたため、直ちに当該店舗において当該製品の自主回収に着手した。」旨、恵那保健所へ連絡があった。

２ 販売者

名 称：株式会社スーパーチェン主婦の店中津川店

代 表 者：横井晃

所 在 地：中津川市

　　電話番号：０５７３－６６－５１１５

販売店舗：スマイル駒場店（中津川市駒場）

３ 自主回収の対象製品

名 称：小あじ

原産地名：福井県産

販売形態：合成樹脂トレーパック入り

加工年月日：令和５年８月２３日

消費期限：令和５年８月２５日

４ 販売状況

販売日時：令和５年８月２３日 １３：３０～１９：００

販売数量：１１パック

５ 県民の皆様へお願い

食中毒防止のため、お手元に該当商品がある場合には、口にされないようにし、購入した販売店に返品してください。

６ 購入者問い合わせ先

　　スマイル駒場店 ０５７３－６６－５１１６

魚, 動物, 猫 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■抹茶アイスから大腸菌検出、出荷分を回収命令　京都・宮津の茶販売店**

**8/24(木) 17:48配信　京都新聞　京都府宮津市**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/96982e6e67edf3b0c0d6811db615729f929acd7e>

**府からの発表はまだですが　消費者庁の方に回収情報は載っています**

**■食品衛生法違反者の公表について　2023/8/22　葛飾区**

**バナナケチャップより、使用が認められていない保存料（安息香酸）が検出**

<https://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/944/050822ihanshakouhyou.pdf>

　公表年月日　令和５年８月 22 日

業種　食品輸入販売業

営業者の氏名等 名 称　合同会社 智太 代表社員 伊東和男

所在地　東京都葛飾区

主な適用条項　食品衛生法第 13 条第 2 項違反のため同法第 59 条第１項を適用

行政処分を行った理由

フィリピンから輸入したバナナケチャップより、使用が認められていない保存料（安息香酸）が検出されたため

行政処分の内容　賞味期限が 23.07.04 のバナナケチャップ（PAPA SWEET-SARAP　BANANA KETCHUP）320g の販売禁止

**■違反食品の回収・廃棄等のお知らせ（8月17日公表）　千葉県千葉市**

**食品衛生法第13条第3項違反　農薬であるプロフェノホスが基準値を超過したため**

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seikatsueisei/r5_workspace_food/r050817_violacion.html>

　　千葉市保健所長は、食品衛生法第13条第3項違反として、営業者に対して食品の廃棄を命じたので、お知らせします。

1　営業者

名称：株式会社ネクストインターナショナル

所在地：千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1

2　違反食品

（1）商品名　　　冷凍カラマンシー（FROZEN KUMQUAT）

（2）数量　　　　50CT、750.00kg

3　違反内容　食品衛生法第13条第3項違反

農薬であるプロフェノホスが基準値を超過したため

4　措置　当該違反食品の廃棄命令

5　販売先　なし

6　備考　当該品は輸入食品であり、流通はしていない。

このページの情報発信元

保健福祉局医療衛生部生活衛生課

千葉市中央区千葉港1番1号　千葉市役所9階

電話：043-245-5215　ファックス：043-245-5554

[seikatsueisei.HWM@city.chiba.lg.jp](mailto:seikatsueisei.HWM@city.chiba.lg.jp)

**★その他関連ニュース★**

**■新型コロナ　東京都1機関当たりの報告数は10.96人　前週の1.07倍に**

**8/25(金) 10:38配信　Hint-Pot**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0c1d7f5d4e53004e03d6b68dccf113471c4caada>

**■オミクロン株の新ウイルス系統、スイスと南アでも検出＝ＷＨＯ専門家**

**8/25(金) 7:45配信　ロイター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/110cd840db79b6256c593f13f83bcc5121048c9e>

**■コロナ入院患者増「一般医療への影響も懸念」 - 東京都が専門家の分析公表**

**8/24(木) 19:15配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e61cd23e9728ac64eba135cebfa2b6ce0dea0063>

**■子どもとコロナの後遺症、発疹や結膜炎・舌の腫れにも注意**

**8/24(木) 10:02配信　ダイヤモンドオンライン**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6947a2e7421e70f382f45e2a0dd51856628f7f0d>

**■【感染症情報】新型コロナが2週連続で減少 - ヘルパンギーナ・RSウイルスは5週連続減**

**8/22(火) 14:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5b4e66364733ceaad533211287eb34c3dde79edf>

**■割れやすいガラスコップに関する注意喚起　2023/8/17　大分県大分市**

<https://www.city.oita.oita.jp/o042/2023keihatu11.html>

　国民生活センターにおいて「ガラスのコップを洗っていたところ、割れて手にけがをした。割れた原因を調べてほしい。」というテスト依頼をうけ、当該のガラスコップを調査したところ、通常のガラスコップより割れやすくなっている可能性があることが分かりました。

当該品「オーロラグラス」をお持ちの方は、使用を中止し、販売元である株式会社パルにお問い合わせください。

【詳細】国民生活センターの注意喚起ページ（別ウィンドウで開きます）

<https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20230726_1.html>



消費者トラブルの相談先

消費者ホットライン188（局番なし）

ライフパル消費生活相談専用電話（097）534-6145